

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000096		
法人名	社会福祉法人 福壽会		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	佐賀県佐賀市諸富町諸富津209番地3		
自己評価作成日	令和元年5月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和元年7月24日	外部評価確定日	令和元年9月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日々の生活の中で、笑顔に溢れ利用者とスタッフが、楽しく日常生活が送れる様な雰囲気作りを心掛けている。また、スタッフが御利用者様の想いに添ったケアに努められるように考え、支援にあたっている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>筑後川沿いにある母体の特養の側に位置する3階建ての建物の2階に1ユニット、3階に1ユニットがある事業所である。居室や食堂フロアからは、筑後川や昇開橋、地域の街並みが見渡せる。長年変わりなく懐かしい眺めで、利用者の心を和ませる光景となっている。事業所が今年度一番力を入れて取り組んでいる事業として、日ごろ外に出かける機会が少ない利用者の外出の機会を作る事業を行っている。年間1万円の娯楽費を利用者に負担してもらい、買い物、外食、誕生日のケーキ購入等のために利用者が月に2～3回程度外へ出掛ける機会を作っている。この事業の目的は、生活がマンネリ化しないようにまた、季節を感じて過ごしてもらうことであり、楽しみを感じて生活を送ってもらえるように職員が協力して取り組みを行っている。納涼祭り、クリスマス会、観桜、外部からのふれあい等を母体の特養と一緒に行うことで利用者間の交流も図れている。利用者家族との交流会として年に1回家族との懇談会を兼ねた食事会を計画し利用者、家族、職員の情報の共有の場となっている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法令に準じた、独自の運営理念を定めている。	同左	職員と一緒に話し合い、考え、作り上げた理念を、常に見えるところに掲げ理念の共有を行っている。職員と一緒にどうやったら楽しく過ごせるか話し合うことで職員のストレスも軽減できるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設と共同で、働きかけを行っている。この他、さくら独自で地域のボランティア団体の方々に月に2回に來園してもらい交流を図っている。	同左	地域の傾聴ボランティア、読み聞かせボランティア、歌や舞踊等訪問を定期的に受け入れ交流を持っている。職員は、地域のボランティアとして港のゴミ拾いを定期的に行うことで、地域の一員としての活動が継続できるように努めている。地域の道の駅や商店に利用者と一緒におやつを買いに出かけ地域と人との交流にも努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々の理解は少しずつではあるが高まっていると思う。	同左		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、家族会・運営推進会議を開催しサービスの向上に努めている。	同左	運営推進会議のメンバーは、ご家族、地域包括の職員等の参加はあるものの、地域の民生委員等地域住民の参加が難しい状態。今後は協力を得られるように関係性を築くように努めたいと思っている。議題については、行事、事故報告、入所の状況などを施設より報告を行っているが、出席者からの積極的な意見は殆どない状態。参加できなかったご家族については、議事録を作成し郵送により報告を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	おたっしや本舗諸富・蓮池と協力関係を築くように取り組んでいる。	同左	事業所の空き情報や地域包括よりの入所者の相談などお互いに協力関係を築けるよう日頃より交流を持っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、拘束に対し認識をし拘束0にする為にも家族様はじめスタッフと定期的に話し合う場を持つように心掛ける。	同左	やむを得ず、不動手袋等の着用を行う場合は、家族の同意書、毎日の記録、話し合い等必要な手順に従った書類で確認ができるようになっていいる。また、外す方向での取り組みでは、休まれているとき、寄り添いができるときは一緒に過ごすことで不動手袋を外す時間を増やしている。職員への教育も年間の研修計画に立案している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないように正しい知識の提供と、スタッフ間での話し合いや、勉強会を行い虐待防止に努めている。	同左		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見人制度について研修や勉強会を行い、知識を深め気軽に相談して頂けるように支援している。	同左		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時に、契約書及び重要事項説明書の内容を利用者及び家族に説明を行い同意を得ている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。また、玄関に提案箱を設けている。	同左	ご家族訪問時にお話の機会を作りコミュニケーションを築けるように心がけている。訪問が難しいご家族へはメールやお便りで意見、要望を聴取している。意見や要望は運営委員会等で話し合い対応を行っている。ご家族の金銭負担の軽減についても、部屋の住み替えやオムツ業者の検討等できる限り要望に添えるような対応がされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護士会議等でスタッフの意見や提案を聞くようにしている。また緊急時には随時話し合い、意見交換を行っている。	同左	日ごろから職員が意見を言いやすいよう信頼関係を築けるように心がけている。また、なにか問題が生じた場合はその都度話し合いを行える体制作りに努めている。職員を増やすことで、残業は緊急時以外はしないようにお互い協力し合っている。人事考課での面談の機会を定期的に設け要望や意見を取り入れやすくするように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と意志の疎通を図り、働きやすい職場作りを心掛けている。	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修会への参加を促し、研修後は周知を図っている。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や講演会等に参加し、他の施設と交流を図っている。又、他の施設にスタッフと見学に行き、サービスの向上に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が何でも気軽に相談できるような雰囲気作りを心掛けている。	同左			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。	同左			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来るだけ、利用者・家族の希望に耳を傾け、他のサービスも含め検討を行う。	同左			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の出来る事は出来るだけ手伝って貰い、お互いの暮らしを共にするもの同士の関係を築いている。	同左			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問できるような雰囲気作りを心掛け、家族と共に利用者を支援している。	同左			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族やご近所様・友達の面会を増やして貰い、また利用者の体調に合わせて外出・外泊の機会を持って貰うように努めている。	同左	外泊の実績はまだないが、利用者の家の付近まで車で出かけたり近所の人が訪ねてくれることで、利用者はリフレッシュする機会になっている。特に傾聴ボランティアのメンバーには、近所の馴染みの人の訪問もあり利用者の楽しみとなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が仲良く過ごせる場所を作り、お互い助け合える場所を提供している。	同左		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、利用者や家族に対しては、出来る限りの支援を行っている。	同左		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ、本人の希望・要望に合った、その人らしい暮らしが出来る様に検討し支援している。	同左	生活歴やお世話をする際もゆっくり利用者寄りになりながら、一人ひとりの思いの把握に努めている。ご家族への意向の収集は、家族訪問の際や電話で情報を得るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴を家族や本人より聞き、サービスに反映できるように努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の有する能力に応じた環境を整え、出来るだけ職員は利用者の行動について口を出さず見守りを行うよう努めている。	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者と会話及び家族からの聞き取り等によりアセスメントを実施し、個別の介護計画を作成する。	同左	いろいろな角度より集めた情報をもとに利用者の視点に立って職員と検討している。また前回のアセスメントや介護計画をもとに職員より意見を聞きながらモニタリングを行い職員と一緒に話し合いを行い介護計画を作り上げるように努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメント表を作成し、ケース記録として日々の生活状況を記録し、職員間での情報を共有して、介護計画の見直しに活かしている。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況に応じた支援を行っている。	同左		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	母体施設を中心に諸機関への働きかけを行い、周知を図っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	利用者・家族の希望があれば、希望 の医療機関への通院・受診が出来る 様に支援を行っている。	同左	入所時にご家族へ事業所の協力医 の説明を行い同意されたご家族は 事業所の協力医療機関へ変更され ることもある。今までのかかりつけ医 を希望されるご家族については、家 族同行での受診となるが、必要に応 じ職員が代行している。また、かか りつけ医への情報提供も密にできる よう努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	訪問看護の看護師と、相談しながら 日常の健康管理を行い、必要があ れば受診を行う。	同左		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	常時連携体制をとっている。	同左		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	利用者・家族・医師・看護師と相談し ながら、利用者にとって、最良の方 法を話し合い支援を行っている。	同左	入所時にご家族へ終末期をどこで 迎えるか聞き取り、意向に沿った対 応ができるように努めている。職員 には看護師により看取りの対応につ いての教育を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法・マニュアルを作成し、マニュアルに従い処置を行う様にしている。又、定期的に職員が集まり、全ての職員が緊急時の処置が出来る様に実践力を身につけている。	同左		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時のマニュアルに基づき職員に周知して貰っている。又、隣接する母体施設の職員の協力体制も出来ている。	同左	年2回消防署の立会いのもと夜間を想定した避難訓練が行われている。母体の施設とは、2階、3階に渡り廊下で行き来ができるよう設計されている。訓練時はお互いの職員が協力し合って訓練を行っている。緊急時のマニュアルも作成されていて、会議時に職員への周知も行われている。近隣の住民や地区の消防団への働きかけの大切さも理解されていて今後は地域の協力体制を築いていけるように取り組んでいきたいと考えている。	
kaino						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けを行っている。	同左	友達感覚では話さない、名前で呼ぶ、個人を理解しての接し方など事業所の会議の際に職員へは周知している。気になる言動、行動の折にはお互いに注意をしあえる関係性を築いている。新人採用時には事前にプライバシー保護についての説明を行い理解できるように教育体制も築けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けにより利用者の希望・要望を聞き対応している。又、選択の場面を作ったり利用者の希望や自己決定が出来る様に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた対応を心掛けており、生活を送る中で出来るだけ利用者の意志を尊重している。又、利用者一人一人に合わせた支援を行っている。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の持参された衣類の中で、本人の希望に添った支援を行っている。又、お化粧を楽しまれる習慣があった方は、お化粧を出来る環境を整え行って貰う様に支援している。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の煩わしさから解放された環境で、ゆっくりくつろげる雰囲気味わって貰えるよう、職員による食事提供を行っている。食事の後片付けは、職員と共に行っている。	同左	食事は主食、汁物以外は3食とも業者へ外注している。宅配された食事のつぎ分けは利用者、職員と一緒に行われている。誕生日に外食をしたり、ご家族と一緒に食事を食べる機会等マンネリ化しないよう検討しながら対応がされていた。今後は利用者と一緒に食事を作る機会も検討しているとのことだった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックを行い、栄養状況を把握し、利用者一人一人に応じた支援を行っている。	同左		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の能力に応じた、口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別による排泄支援を行っている。	同左	利用者の訴えや仕草などで、昼間はトイレで排泄できるように誘導を行っている。また、サイクルや排尿量の観察を行いながら個人の把握を行い紙パンツから布パンツへ移行ができた利用者も増えてきた。実際にトイレまで、ゆっくりと利用者と一緒に添って誘導する光景も確認ができ、利用者一人ひとりに合わせた排泄の介助に努められていた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の配慮は勿論、排泄が困難時は、オリゴ糖・下剤の調整・適度な運動を行い排泄を促している。	同左		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ、利用者の希望・体調に合わせた支援を行っている。	同左	週2回の入浴を基本とはしているが、体調や状況に応じ柔軟な対応が行われている。利用者が入浴しやすいように最新の特殊浴槽を設置し、安全にゆっくりと入浴を楽しめる配慮も行っていた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ昼寝をせずに済むように、散歩や娯楽・お手伝いを日中に行い、夜間安心して眠れるように支援している。	同左		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をバイタルチェック表に掲示し、医師の指示に従い服薬の支援を行っている。又、症状の変化の確認に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後・おやつの後片付けや洗濯物干し・畳み等を共に行う場面を作り、一緒に手伝って頂く。又、季節の行事等についても利用者に教えてもらい楽しい雰囲気作りの支援を行っている。	同左		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は利用者の体調を見ながら、出来るだけ意志を尊重し支援を行っている。又、普段いけない場所に関しては家族や地域の協力を得ながら、出来るだけ利用者の希望に添えるように支援を行っている。	同左	季節により違いはあるが、月に2～3回程度、外食に出かけ日ごろ食べられないものを食べることでメリハリや楽しみを感じてもらえるような取り組みがなされていた。近くにある昇開橋へ散歩に出かけ買い物をしたり、家に帰りたくと希望される利用者には、家の近くまでドライブをすることで落ち着いて過ごして貰うなど状況により外出の支援がされていた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の能力に応じた支援を行っている。	同左		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が自由に通信できるように支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カウンター式の台所に隣接して共同の生活空間があり、談話室の装飾においても、穏やかで家庭的な雰囲気作りに心掛けている。	同左	日ごろ過ごしている食堂を兼ねた談話室からは、筑後川と昇開橋の広大な景色が眺められゆっくりとくつろげる空間となっている。夏は施設内から、迫力満点の花火を眺めることができ、利用者の楽しみとなっている。談話室のソファでは、職員と一緒にお話をしながら楽しそうに過ごされている利用者の光景も見受けられた。ご家族水入らずで食事を共にしたり、季節の行事を行うスペースは、楽しくゆっくり時間を過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファを設置し、利用者が個々にくつろぎ、お互いが親睦を深められるような空間作りを行っている。	同左		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家族に利用者の使い慣れた物品の持ち込みについて十分に説明を行い、居室の環境作りを行っている。	同左	各部屋はタンスや仏壇等利用者が使い慣れた馴染みの品が持ち込まれていて安心して過ごせる温かい雰囲気でも暮らせるような部屋作りがなされていた。夫婦で利用をされている利用者は部屋と部屋の間が行き来できるように工夫されプライバシーを守りつつお互いの生活が見守れるような造りとなっていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手動センサー式蛇口など、安全に自立した生活が送れるように心掛けている。	同左		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない